

事前評価調書

I 事業概要																					
事業名	治山事業（予防治山事業）																				
地区名	しもよしだかみあらと 下吉田上新戸																				
事業箇所	しんしろししもよしだあざかみあらと 新城市下吉田字上新戸 地内																				
事業のあらまし	<p>本地区は新城市の東に位置し、豊川水系の支流である新戸川の上流に位置している。地質は変成岩帯で地殻変動等の影響を受けており風化が進むと崩れやすい特徴を持ち、台風等の降雨により不安定な土砂礫が堆積するなど荒廃した溪流が多い。</p> <p>このため、地元からの強い要望に対し、治山施設を施工することにより荒廃溪流を整備し山地災害を防止する。</p>																				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>谷止工 2 個施工し、荒廃溪流の安定を図る。</p>																				
事業費	事業費		内訳																		
	0.6 億円		■工事費 0.6 億円、□用補費 億円、□その他 億円																		
事業期間	採択予定年度	2025 年度	着工予定年度	2026 年度	完成予定年度	2026 年度															
事業内容	谷止工 2 個																				
II 評価																					
①事業の必要性	1) 必要性	<p>当該地域では溪流の荒廃が進み、山地災害の発生の恐れがある。地元からは治山事業による整備が強く望まれている。</p> <p>また、「費用便益分析マニュアル」に基づき算定したB/Cは9.6で1.0を越えており、効果が期待できる。</p>																			
	判定	A	<p>A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <p>山地災害の未然防止を図るうえで、当該地域における事業実施が必要であるため。</p>																		
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2026</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">工種区分</td> <td>工事</td> <td>←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>谷止工</td> <td>←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table>							2026	合計	工種区分	工事	←→		谷止工	←→		事業費（億円）		0.6	0.6
			2026	合計																	
	工種区分	工事	←→																		
谷止工		←→																			
事業費（億円）		0.6	0.6																		
2) 地元の合意形成	<p>地元区長を通じて所有者から要望が出されており、地元への説明を経て地元の了解が得られている。</p>																				
判定	A	<p>A： 事業計画の実効性が期待できる。</p> <p>B： 事業計画の実効性が期待できない。</p>																			

		<p>【理由】 事業計画に無理はなく、地元の了解も得られているため事業の実効性は期待できる。</p>
<p>Ⅲ 対応方針</p>		
<p>事業実施が 妥当である。</p>	<p>事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。</p>	
<p>Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容</p>		
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 治山ダム工周辺の溪流の状況から事業効果を評価する。</p>		